

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名		シニアライフ応援計画					所管	教育委員会 生涯学習課
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	129	計画事業名	シニアライフ応援計画			事業の開始・終了年度
	長期総合計画体系	[基本目標] II-3. 学びと交流の仕組みづくり						
		[小 柱] (1)多様な学習活動の支援						
		[施策] ①学習の機会と環境の充実						
	根拠法令等	その他	[法令等名]	なし				
	事業対象	団塊世代を含む概ね60歳以上のシニア世代を中心とした中高年在住者						
	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・シニア世代が持つ豊富なキャリアや意欲を地域に活かす。 ・シニア世代の現役を退いた後の生活を、より生きがいのあるものとする。 						
	事業内容	シニア世代の方たちの今後に役立ち、交流、生きがいや地域活動に繋がる様々な分野の講座や講演会を、在住者のシニア世代を中心とした実行委員会で企画運営し、実施する。						
委託の有無	一部委託	委託内容		一部講座のNPO法人等への委託				
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	講座・講演会等実施回数	回	3	2	3	3	
		実行委員会実施数	回	10	14	10	10	
	成果指標	講座・講演会等参加者数(延べ)	人	90	57	84	173	
		決算額 (単位：千円)						
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)			1,700	1,604	2,229	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			69	6	139	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			39	60	10	
		総経費			1,808	1,670	2,378	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0			
一般財源(区負担額)			1,808	1,670	2,378			
前回評価から改善した事項	講座参加者数が増えなかったために、実行委員会で講座の実施内容、時期などを見直した。講座実施数は前年度と同じだが、参加者数が2倍以上に増加した。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	団塊世代を含むシニア世代向けの講座・講演会等を、地域のシニア世代の意見を反映しながら行っているため、広く区民にとっての地域貢献や生きがいづくり等の活動実践やその契機となっている。					
	効率性	3	受講対象であるシニア世代が講座等の企画を考え、効率よく運営するように事業を進めている。					
	手段の適切性	3	地域のシニア世代で構成された実行委員会のシニア世代ならではの意見を反映しながら進めている。					
	目的達成度	3	シニアの地域貢献や豊かな生きがいづくりに向けた、きっかけづくりの機会としての講座を実施している。前年度と比較して講座参加者数も増加したため、各講座とも、シニア世代のニーズに応えた内容となっている。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)								
平成28年度に講座参加者と実行委員の増加に努めた。講座参加者数は前年度の倍に増え、実行委員も増加した。今後も引き続きシニア世代の力を活かせる講座や講演会を実施していく。								
評価結果	今後の方向性		維持					
拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了								